

# 平成29年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立玉幡中学校

## ■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

## ■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部分」であることをご理解ください。

## 1 調査結果について

### ■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語・数学ともに「知識」をみるA問題の方が、「活用」の力をみるB問題よりも正答率が高いです。
- ・国語の平均正答率はA、B問題ともに全国より若干高いです。国語のA問題の「事象や行為などを表す多様な語句について理解する」B問題の「表現の仕方について捉え、自分の考えを書く」に課題があります。
- ・数学の平均正答率は、B問題は全国と同程度、A問題はやや低い傾向にあります。A問題では「関数の領域で関係を見だし理解し表現する」B問題の「与えられた情報を読み、数学的な結果を事象に即して解釈し、問題解決の方法や事柄が成り立つ理由を筋道立てて説明すること」に課題があります。

### ■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・良い傾向がみとめられる項目  
「朝食を毎日食べている」「学校に行くのは楽しい」「学校で好きな授業がある」「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある」「将来の夢や希望をもっている」「先生は授業やテストで間違えたところや理解していないところについてわかるまで教えてくれる」「授業で学んだことを他の学習や普段の生活に生かしている」「今住んでいる地域の行事に参加している」「地域社会などでボランティア活動に参加したことがある」「家の人は、授業参観や運動会などの学校行事に来ます」等について高い数値を示しています。
- ・課題となる項目  
①「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意だ」「新聞を読んでいる」「400字詰め原稿用紙の感想文や説明文を書くことは難しい」「学校の授業などで自分の考えや他の人に説明したり文章を書いたりすることは難しい」等、自分の考えを書いたり、発表したりすることに課題が見られます。  
②「テレビ等の視聴や携帯・スマホでの通話やメール・ゲーム等の時間が多く、土日を含め、家庭学習の時間が少ない、あるいは学校の授業の復習をしていない生徒の割合が高い」傾向にあります。

## 2 これからの取組について

### ■学校で取り組んでいくこと

- ・生徒一人一人が授業のめあてを意識したり、授業の終わりに振り返りの時間をもつ授業を行っていきます。
- ・全教科で言語活動を充実し、自分の考えを書いたり、発表したりする授業を行っていきます。
- ・家庭学習の定着のために、家庭学習ノートの取組を継続して行います。

### ■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・学習の定着を図るために、家庭での学習時間を確保して下さい。
- ・テレビの視聴時間、携帯・スマホ・ゲームなど、家庭での使用について約束を決め、長時間の使用をしないようにして下さい。
- ・学校での出来事や、社会で起こっている問題や出来事について、自分の考えを家族で話し合う機会をもってください。